

# JSCA 九州 大分地区会メール版

発行・日本建築構造技術者協会九州支部大分地区会

## 2022 年を迎えて



2022 年新年のご挨拶



大分地区会 幹事 山本 伸二

大分地区会、SYO、協力会の皆さま 新年あけましておめでとうございます。

輝かしく、希望を抱き、新年をお迎えされたと思います。今年も元気で健やかな年であります様お祈り致します。

さて、昨年も世界中がコロナ感染症の猛威に恐怖をいただき過ぎねばならない年でした。この大分でも皆様方が自粛生活や日常の努力に努められてきたことと思います。そんな中ではありますが大分地区会の活性化と我々は思案を重ねてきているところでございます。コロナの感染者数の4波が収まりつつある6月9日には木質系部会の山下部会長から「木造の構造設計を始めてみよう」の勉強会を行って頂いております。昨年の年頭あいさつでICTの活用



の取り組みを宣言して最初の活用でありました、初めての経験の ZOOM による勉強会でした。準備で接続を確認しながらの取り組みでした。(左写真) その後、コロナ感染者は8月には日に29,000人と多くなり、活動の制限を受けるようになってきましたが何とか協議を重ねながら年末近く11月10日に会員、SYO会員、協力会員、大分大学理工学部の学生さまの参加で勉強会を開催することができました。これは、活動に悩みを同じとする宮崎地区会様との共催でした。この勉強会は大分地区協力会さまの協力で行う事が出来き、タイムスケジュールは2部構成で行い1部では鉄骨柱脚のメーカー、岡部株式会社さま、株式会社鹿島技研さま、センクシア株式会社さまの協力会3社の製品説明と2部ではアイエスケ株式会社早野貴至氏による演題「認定柱脚のちょっと良い話」を講演していただきました。お陰様で42名の参加者で勉強することが出来ました。非常に有意義な時間を年末に過ごすことが出来たようにあります。



(協力会勉強会参加者一例)

終了後にアンケートをお願いいたしました、ご感想や、ご意見、ご質問の多くの貴重なお言葉を頂き今後の活動に意欲が高まった次第です。

本年は皆様と共に多くの勉強会をと思っています。平時でしたら年末12月に一同集い、一年間の感謝と皆様とお互いに慰労をねぎらい対面でのご挨拶ができたことだと思います。残念なことでした。今後に期待を抱きつつ楽しみにしておきます。

最後に皆様の益々のご活躍とご多幸をお祈り申し上げます。

「2022 年を迎えて」は各部会の代表者に執筆をお願いしてお言葉を頂いています。

2022 年を迎えて



大分地区会副幹事  
(株)大有設計 小野 慎弥

JSCA 九州支部大分地区会、SYO ならびに協力会の皆様、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

私事にはなりますが、昨年1月から6月まで半年ほど沖縄に出張しておりました。その間地区会活動に参加できず、幹事の山本氏、事務局の平田氏には大変ご迷惑をおかけしました。復帰後の11月にはコロナ化で中々活動できていなかった協力会も皆様のご協力のおかげでWEB勉強会を開催することができました。少しずつコロナが収束しつつある本年は是非皆様にお会いできるような企画を計画したいと考えております。また、1月には沖縄での構造デザイン発表会が予定されております。参加される皆様にお会いできるのを楽しみにしております。昨年はコロナ化で沖縄を満喫することができませんでしたので、今回は少しでも沖縄を感じることができればと楽しみにしているところです。【投稿後、再度延期になりました。残念】

本年もコロナ収束の見通しはついておりませんが、幹事の山本氏、事務局の平田氏を盛り立ててサポートしていきたいと思っております。

皆様につきましても引き続き大分地区会へのご協力よろしくお願いたします。



大分地区会事務局(設計部会兼務)  
平田設計事務所 平田 豊治

2022 年 明けましておめでとうございます。

昨年12月20日「南海トラフ地震への対策・対応を改めて問う」災害フォーラムが大分大学の小林先生の担当により建築学会主催で行われ、高橋成美氏より南海トラフに関する最新情報が披露されました。海洋型地震発生時にプレート境界で「ゆっくりすべり」が連動発生することを解明したとのことでした。プレートテクトニクス理論の証拠を発見したということだと思のですが、興味深かった話は その地震発生時に「どこかは特定できないが沈降するところと隆起するところが必ずできる」ということでした。・・・だとすると、別府湾にあったという「瓜生島」は・・・本当にあったのでは……。ドンドン妄想は膨らみ、……。中国大陸の東側に日本海が発生することで日本列島が分離し、伊豆半島が「ひょっこりひょうたん島」のようにやってきて、日本アルプスがムクムクと隆起する壮大な地球の活動が展開され、しばらく妄想に浸ることとなりました。

今年も JSCA 九州大分地区会の活動にご協力をお願いします。

2022 年1月 1 日

2022 年を迎えて



HP委員長  
K2構造設計(株) 河野 浩二

皆様、明けましておめでとうございます。

HP担当の河野です。

昨年の秋ごろから、デルタ株の新型コロナウイルスの流行が落ち着いて来たと思ったら、本年になってオミクロン株の大流行となり、仕事の仕方やジャスカ大分の活動形態に大きく影響が出そうな感じです。

しかしながら、治療薬開発など明るい兆しも見え始めました。

この新しい年が、皆様にとって、より良き年になるよう心より祈念致しまして、私からのご挨拶とさせていただきます。

皆さん、今年もよろしくお祈りします。



応答制御設計部会  
木構造システム(株) 矢原勇

明けましておめでとうございます。

2022 年を迎えて



基礎地盤系部会  
森田建設(株) 荻本修三

皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年も、コロナウイルスの波に見舞われた年でした、また 新オミクロン株も気になる年の始めです。今年は、壬寅(みずのえとら)です、壬 には静謐(世の中がおだやかに治まること)を表しています。また、壬寅には、厳しい寒さを耐えれば命の芽吹く春がやって来ることを表しているそうです、今年こそコロナウイルスが収束することを願っています。

大分地区会 基礎地盤系部会としましては、再度仕切り直し勉強会を進められるように努力したいと考えております。(公私とも余裕がないもので、時間がかかりそうですが)

本年も宜しくお願いします。



鉄筋コンクリート部会  
東九州設計工務(株) 後藤定己

明けましておめでとうございます。

2022 年を迎えて



特殊構法会  
(有)岩田設計事務所 阿南治利

明けましておめでとうございます。



鉄骨系部会  
神田設計 神田 倫臣

明けましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、運動のやり過ぎで膝を痛めてしまい、思ったように運動できず、体重の自己新記録を更新し続ける一年となりました。今までは、一定期間安静にしていれば痛みが引いていたのですが、いつまでも違和感が無くならないため、診察してもらいました。よくある病気のためか先生からは、軽やかに事務的に語尾に薩摩弁？を残しつつ、軟骨の片べりによる炎症と水が溜まっていることを指摘され、すり減った軟骨は、二度と戻ることは無く運動すればするほど減っていくこと、膝には体重の七倍の荷重がかかるので階段・坂は下りをゆっくり歩くこと、ヒールはだめでスニーカーが良いこと、和式はだめで洋式が良いこと、TV・新聞でよくある薬は効かないこと、水は抜かなくても大丈夫なこと、ソールを用いてO脚を直す必要があることなど説明を受けました。それから、リハビリ・ストレッチ担当の先生から脚の筋力維持と水を抜くための三種類の運動を指導してもらいました。二か月ほど運動を続けていますが痛みはなかなか抜けません。今年こそは、治療運動はもちろんのこと適度に運動を行い、酒量を抑える新たな食事療法を取り入れ、健全な体を取り戻したいと思います。

新しい年が、皆様にとりまして素晴らしく希望に満ちた年でありますようご祈念申し上げまして、年頭のあいさつといたします。



2022 年を迎えて



木質系部会  
きいぷらん 山下 智

皆様、新年明けましておめでとうございます。

一昨年は新型コロナウイルスにより活動を延期しておりましたが事務局の支援もあり、6月9日に木質部会の活動として「木造の構造設計を始めてみよう」を題材に講習会を開催させて頂きました。

オンライン講習として ZOOM にて開催させて頂いたのですが不慣れなこともあり、上手く出来たのか手応えを掴めずにいないと言った所が正直な感想です。

本講習は木造の構造設計を出来る者の裾野を広げたいと言った所を意図しておりますが少し視点を変えた方がいいのかなとも感じている所です。

今年も皆様よろしくお願ひいたします。



耐震改修部会  
しげる設計 首藤 茂

コロナが始まって、仕事が暇になったのでその年(2020)は(一社)日本ドローン操縦士協会のドローンパイロットの3級をとった。次の年(2021)はドローンパイロットの2級をとった。ドローン(200g以上)はいろいろな法律があつてどこでも飛ばせないが、国交省に申請すれば法律で規制されない場所であれば飛行できる。人口集中地区は200g未満のドローンは国交省に申請しなくても飛行ができる(2022年6月22日からは100g以下)。最初のドローンはトイドローン(TELLO)を買って前の公園で飛ばしていたが、自衛隊のヘリコプターの音がして大きくなったかなと思ったら、かつてに30m以上舞い上がり突然制御不能となり行方不明となった。落ちた場所付近を探しても見つからなかった。それで2機目のドローンはDJI社の199gのドローン(DJI MINI2)で練習した。中国のDJI社はドローンでは世界NO1でカメラにジンバルを内蔵していてブレナイ。公園では子供が来て「おじちゃんさせて」と言うので、別府市の屋体を借りて飛ばしていたが、屋体も11、12月は寒くなったので、前の公園で子供のいない時に飛ばして遊んでいたが、11、12月は鶴見降ろしの風が強吹くのでドローンが風に負けて制御が大変で、飛ばす頻度が少なくなりました。6月からは国交省に申請して飛ばす予定。

2022 年を迎えて



SYO部会長  
(株)日構設計 高橋 教倫

新年明けましておめでとうございます。

ワクチン接種が進み新型コロナウイルスが落ち着きを見せ始めましたが、また新たな株で感染が広がり始めました。加えて原油・木材・鋼材の高騰により建築業界にも大きくブレーキがかかった1年だったかと思います。構造設計という分野は以前から経済設計を求められていましたが、これからはより頭を使い技術を駆使した対応を迫られそうです。

話は変わりますが、私生活では新年早々に太り散らかしたので減量の1年になりそうです。人ってあんなに簡単に太ることができるのに痩せる時は血を吐くような努力を必要とするんですね。躯体量や鉄筋量を減らす苦勞に似ています。仕事で減らす努力をしているから私生活が太る方へ振り切ってしまうんだよ！という見苦しい言い訳をしながら毎年恒例になったスーツのサイズアップに行ってきます。

本年もよろしくお願いいたします。



協力会幹事  
(株)大鐵 國安 孝貴

新年明けましておめでとうございます。

大分地区会・SYO・協力会の皆様におかれましては、時下ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

2022 年は壬寅(みずのえとら)であり諸説あると思いますが、「壬」は「妊に通じ、陽気を下に妊(はら)む」、「寅」は「蟻(ミズ)に通じ、春の草木が生ずる」という意味があり「壬寅」は厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新しい成長の礎となるというイメージだそうです。今年こそは、皆さんでコロナ禍を乗り越え新しい成長を感じることが出来る1年であることを期待しております。

結びに、新たな講習会や勉強会等を通じて会員相互の関係構築が深まることをご祈念申し上げまして年始のご挨拶といたします。

# 2021トピックス

## 2021年出来事

- 【1月】 大学入学共通テスト初実施
- 【2月】 医療者ワクチン接種開始  
大坂なおみテニス全豪V
- 【3月】 ゴーン被告逃亡支援容疑、米親子逮捕
- 【4月】 菅首相が温室ガス46%削減目標を表明  
3度目の緊急事態宣言
- 【5月】 わいせつ教員対策新法が成立
- 【6月】 ゴルフ全米女子OPで笹生優花が優勝
- 【7月】 静岡・熱海で土石流、死者・行方不明者27人  
東京五輪史上最多58メダル
- 【8月】 新型コロナ、変異株が猛威  
東京パラ史上2番目51メダル
- 【9月】 菅首相が退陣表明  
自民党総裁に岸田氏、首相に就任  
新型コロナ感染者減少、緊急事態宣言や重点措置が半年ぶり全面解除
- 【10月】 眞子さま、小室圭さん結婚  
沖縄に軽石大量漂着
- 【11月】 将棋・藤井聡太さんが新竜王、最年少四冠に  
大谷翔平、メジャーMVPに  
「オミクロン株」対策で政府が外国人の新規入国停止
- 【12月】 前沢さん、ISS到着＝日本の民間人初、宇宙旅行  
布マスク、倉庫で山積み＝年度内廃棄へ

